

2021年度HPDU事業報告書

(1) 模擬G7サミット2020 「インターネット上の誹謗中傷についての法改正を考える」 Model G7 Summit 2020

主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟 (HPDU of Japan)

後援：(公財) 日本ユニセフ協会

趣旨：①グローバルリーダーにとって必要なスキルを育成するための実践練習の場を提供する。

②高校生の社会貢献活動や社会参画についての意識を高めるとともに、企画・運営力を育成する。

内容：インターネット上の誹謗中傷に関する問題について高校生である自分たちに何ができるのか、英語又は日本語でディスカッションし、英語で発表した。

日時：2020年9月6日(日) 9:00～16:00

場所：オンライン Zoom、LINEにて実施

参加費：無料

日程：8:30 受付 (Zoomでの入室開始)

9:00 開会の辞

9:20 高校生と政治について車世栄さんより (質疑応答含む)

9:50 運営によるプレゼンテーション・質疑応答

10:10 グループディスカッション・発表準備

12:00 昼食

12:40 各グループによる発表準備 (Google スライドの作成など)

13:40 各グループによる発表・質疑応答

15:25 振り返り

15:35 審査発表、解散

参加校：神戸大学附属中等教育学校、渋谷教育学園渋谷中学高等学校、渋谷教育学園幕張高等学校、洗足学園
中学高等学校、創価高等学校、東京学芸大学附属高等学校、栃木県立宇都宮高等学校、福井県立藤島
高等学校、富士見中学高等学校、Guiyang No.1 High School (China)、Kang Chiao International
School (China)、St. Dominic Savio Catholic High School (U.S.A.)、Taipei Wego Private High
School (Taiwan) 計13校より44名

運営委員：藤野こころ、谷口美幸、貴田悠斗 (以上3名 渋谷教育学園渋谷高等学校2年)

ファシリテーター：石井誠子、梅崎理彩、金口英里奈、川野芽衣、清水優里、菅生真歩、隅佑香、三宅熙一朗 (以
上8名 渋谷教育学園渋谷高等学校)

ゲスト：若者の政治参画を推進する活動を行っている高校生の車世栄さんによるキーノートスピーチ、イン
ターネット上の誹謗中傷に立ち向かった芸人として話題になっている春名風花さん (舞台俳優、
声優) からのビデオメッセージ、J7サミット2015日本代表として独メルケル首相と意見交換
した足立愛音さん (東京大学法学部3年) からのアドバイス。

(2) 第9回 高校生英語パラメンタリーディベート連盟 新緑杯

HPDU Spring Greenery Competition 2020

主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟

後援：公益財団法人 日本英語検定協会、一般社団法人 日本英語交流連盟

協賛：有限責任 あずさ監査法人

協力：iae グローバルジャパン株式会社、エイムネクスト株式会社、株式会社E d u L a b、株式会社オールアバウト、油井アソシエイツ株式会社

日時：2020年11月15日（日）9：00～17：30

場所：オンライン Zoom、LINE にて実施

参加費：1チームにつき3,000円

主旨：（1）パラメンタリーディベートを通して高校生の総合的英語運用能力を伸ばす。

（2）経験者が新人ディベーターを育成する機会の提供。

（3）様々な社会問題に興味関心を持つ態度を養う。

（4）高校教員のジャッジ養成。

参加資格：（1）日本に住所がある高校に在学している1学年から3学生までの生徒(留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含まれます)。

（2）第1回新芽杯に参加していない学校の生徒。

チーム構成の条件：

（1）チームの登録人数は3人。チーム内には必ず新人ディベーターが1人は含まれていること。新人ディベーターとは、パラメンタリーディベート経験がおおよそ10ヵ月未満の生徒を指します。

（2）同一校のチームの参加とします。ただし、英会話スクールなど HPDU が認めた高等学校以外の団体は例外とします。

試合形式：ノースアメリカンスタイル（7分、7分、7分、7分、4分、4分）

1チーム3名、4試合（2試合目以降はパワーペアリング）、準備時間は20分。

日 程：8：30～ 8：45 受付

8：45～ 9：15 開会式

9：15～ 9：25 第1試合 対戦表、論題発表

9：25～10：45 準備（20分間）、試合

11：10～11：20 第2試合 対戦表、論題発表

11：20～12：40 準備（20分間）、試合

12：40～13：15 昼食

13：15～13：25 第3試合 対戦表、論題発表

13：25～14：45 準備（20分間）、試合

15：10～15：20 第4試合 対戦表、論題発表

15：20～16：40 準備（20分間）、試合

17：00～ 表彰・閉会式

参加校：愛知県 東海高校

埼玉県 さいたま市立浦和高校

神奈川県 浅野高校、相模原高校、栄光学園、聖光学院、

千葉県 翔凜高校、渋谷教育学園幕張高校、
大阪府 高槻高校
東京都 富士見高校、三田国際学園高校、白百合学園高校、渋谷教育学園渋谷高校、
小石川中等教育学校、東京学芸大学附属高校、早稲田大学高等学院、都立国際高校
両国高校、筑波大学附属駒場高等学校、豊島岡女子学園高校、
富山県 富山国際大学付属高校、
兵庫県 神戸大学附属中等教育学校 (以上 22校、38チーム)

Motions(論題) :

Round 1: This house would pay all elected politicians the median wage in their country.

Round 2: This house would give national treasures (like the Rosetta Stone in the British Museum) back to their countries of origin.

Round 3: This house believes that only countries with good human rights records should be allowed to host the Olympics.

Round 4: This house would legalize surrogacy for profit in liberal democracies.

試合結果：チーム順位

優勝：筑波大学附属駒場高等学校

準優勝：さいたま市立浦和高等学校A、渋谷教育学園幕張高校A

4位：渋谷教育学園幕張高校B

5位：東京都立国際高校B

個人順位

(経験者の部)

1位：栄光学園 岡村 隆聖

2位：筑波大学附属駒場高等学校 水谷 友哉

3位：神戸大学附属中等教育学校 久保 えみり、浅野高校 渡邊 理人

5位：渋谷教育学園渋谷高等学校 清水 美那、東京都立小石川中等教育学校 高 天蔚

(初心者の部)

1位：渋谷教育学園幕張高等学校 脇田 理花

2位：東海高校 岸田 憲明

3位：豊島岡女子学園高等学校 加納 彩瑛

ボランティア：運営委員7名、高校生8名、【合計】15名

チーフジャッジ：小野暢思(審査委員長/慶應義塾大学 KDS OB)

(3) 第1回 高校生英語パラメンタリーディベート連盟 新芽杯

HPDU Sprout Cup 2020

主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟

後援：公益財団法人 日本英語検定協会、一般社団法人 日本英語交流連盟

協賛：有限責任 あずさ監査法人

協力：iae グローバルジャパン株式会社、エイムネクスト株式会社、株式会社EduLab、株式会社オールアバウト、油井アソシエイツ株式会社

日時：2020年11月15日（日）9：00～17：30

場所：オンライン Zoom、LINE にて実施

参加費：1チームにつき3,000円

- 主旨：（1）総合的英語運用能力向上に有効であるパラメンタリーディベートのルールや技を学ぶ。
（2）大会出場経験が少ない高校生たちに対外試合の機会を与える。
（3）身近な問題や社会の問題について論理的で説得力のあるスピーチを即興でできる力を伸ばす。
（4）高校教員のジャッジ養成。

試合形式：試合：ノースアメリカンスタイル（4分、4分、4分、4分、3分、3分）

1チーム3名、3試合（2・3試合はパワーペアリング）、準備時間は30分とする。

参加資格：（1）日本に住所がある高校に在学している1学年から3学生までの生徒(留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含む)。

（2）第9回新緑杯に参加していない学校の生徒。

チーム構成の条件：

- （1）チームの登録人数は5人まで。試合ごとのチーム内の交代は自由。ただし、試合ごとにチーム内には必ず新人ディベーターが1人は含まれていること。新人ディベーターとは、パラメンタリーディベート経験がおおよそ10ヵ月未満の生徒を指す。
（2）同一校のチームの参加とする。ただし、英会話スクールなど HPDU が認めた高等学校以外の団体は例外とする。

日程：8：30～ 8：45 受付

8：45～ 9：15 開会式

9：15～ 9：25 第1試合 対戦表、論題発表

9：25～10：45 準備（30分間）、試合

11：10～11：20 第2試合 対戦表、論題発表

11：20～12：40 準備（30分間）、試合

12：40～13：15 昼食

13：15～13：25 第3試合 対戦表、論題発表

13：25～14：45 準備（30分間）、試合

15：45～ 表彰・閉会式

参加校：愛知県 愛知県立旭丘高校

茨城県 並木中等教育学校

大阪府 関西創価高校、高槻高等学校、関西創価高校

鹿児島県 鹿児島県立大島高等学校

神奈川県 カリタス女子中学高等学校、神奈川県立多摩高等学校、桐光学園高等学校、神奈川県立多摩高等学校、神奈川県立柏陽高等学校

埼玉県 埼玉県立伊奈学園総合高等学校

東京都 東京都立千早高等学校、獨協高校、ECC ジュニア東京練習会

徳島県 徳島県立城ノ内高等学校

栃木県 栃木県立宇都宮高等学校、栃木県立宇都宮東高等学校、

富山県 富山国際大学附属高等学校

（19校 32チーム）

Motions(論題) :

Round 1: This house would ban eating contests.

「本院は大食い大会を禁止する」

Round 2: This house believes that holding a gorgeous wedding ceremony is better than holding a simple one.

「本院は、豪華な結婚式を催すのは、素朴な結婚式を催すより良いと信じる」

Round 3: This house believes that criminal trials should be publicly broadcasted on TV and other media (like YouTube).

「本院は、刑事裁判はテレビそして他のメディア媒体(例えば YouTube)で公に放送されるべきと信じる」

試合結果: 優勝: 神奈川県立柏陽高等学校 準優勝: 栃木県立宇都宮高等学校

3位: 関西創価高校 4位: ECC ジュニア東京練習会 5位: 愛知県立旭丘高校

ボランティア: 運営委員 2 名、高校生 8 名【合計】10 名

HPDU 員以外の運営委員: 藤野こころ、谷口美幸、貴田悠斗、栗原璃音、清水萌絵、木澤未来、石井誠子、藤村はる

(4) 第3回HPDU中学生パラメンタリーディベート大会

HPDU Middle School Competition 2019

主催: 一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟 (HPDU of Japan)

協賛: 有限責任 あずさ監査法人 (KPMG AZSA LLC)

協力: iae グローバルジャパン株式会社、エイムネクスト株式会社、株式会社EduLab、株式会社オーラルアウト、油井アソシエイツ株式会社

趣旨: ①全国の中学生に、即興型であるパラメンタリーディベートの試合を行う機会を提供することにより、グローバル社会で活躍するのに必要とされる英語による論理的発信能力、問題発見解決能力、クリティカル・シンキング、コラボレーション力、グローバル課題や時事問題についての基礎知識、そして緩急やジェスチャー、ユーモアなどを意識した聞き手目線の分かりやすいパブリック・スピーチ力を身につける意義を伝える。

②高校生の社会貢献活動や社会参画についての意識を高めるとともに、企画・運営力を育成する。また、ジャッジの役割を通して、自己のディベート力を向上させる。

※高校生ジャッジは、18か月以上のパラメンタリーディベート経験があり、公正なジャッジとリフレクが可能な者に限る。

日時: 2021年2月14日(日) 8:30 ~17:00

場所: オンライン Zoom、LINE にて実施

参加費: 1 チーム 3000 円、個人参加は 1000 円

参加資格: 中学生(留学生、帰国生、外国籍の生徒も含む)。学校、個人での申し込み共に可能。チームの人数は 3 ~ 5 名(試合に出場するのは 3 人だが、試合ごとに選手入替可能)。人数が足りない場合は、運営側で他の個人申込者と組み合わせてチームを用意。

試合形式: 短縮型ノースアメリカン・スタイル [4 分、4 分、4 分、4 分、3 分、3 分](Constructive speech が 4 分で、Reply speech が 3 分)。4 試合数 4 試合(2 試合以降はパワーペアリング)。

参加校：浅野中学校、栄光学園中学校、慶應義塾湘南藤沢中学校、攻玉社中学校、渋谷教育学園渋谷中学校、渋谷教育学園幕張中学校、白百合学園中学校、湘南白百合学園中学校、翔凜中学校、聖光学院中学校、洗足学園中学校、洗足学園中学校、筑陽学園中学校、筑波大学附属駒場中学校、徳島県立城ノ内中学校、栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校、南山中学校、広尾学園中学校、広島学院中学校、三田国際学園中学校、ECC ジュニア東京練習会

(以上 20 校と 1 団体より 33 チーム、116 名)

Motions(論題)：

Round 1: THW allow performance enhancing drugs in professional sporting events.

「本院は、プロのスポーツイベントにおけるドーピングを許可する。」

Round 2: TH prefers a world in which there are no restrictions on student's appearance in schools. *Uniforms will be an exception.

「本院は、学校で学生の身だしなみに制限がない世界を好む。」

Round 3: THW ban Valentine's day in schools.

「本院は、学校でバレンタインを禁止する。*制服は例外。」

Round 4: THBT online learning is better than offline learning.

「本院は、オンライン学習は、オフライン学習よりも優れているとする。」

試合結果：

優勝：渋谷教育学園渋谷中学校、準優勝：渋谷教育学園幕張高校、3位：栄光学園中学校

ベストスピーカー賞：1位：聖光学院中学校、2位：渋谷教育学園幕張中学校、3位：渋谷教育学園渋谷中学校

ボランティア：運営委員 8 名、社会人 6 名、大学生 1 名、高校生 19 名、中学生 6 名【合計 40 名】

高校生運営委員：藤野こころ、谷口美幸、阿部万里花、池田碧月、石井誠子、江口花音、栗原璃音、下山優里香 (以上 8 名 渋谷教育学園渋谷高校)

高校生ジャッジ：猪倉彼方(筑波大学附属駒場高校)、梅村 知仁(聖光学院高校)、岡村 隆聖(栄光学園高校)、岡本玲亜(埼玉県立伊奈学園総合高校)、神崎花南(渋谷教育学園渋谷高校)、黒田 智也(徳島県立城ノ内高校)、齋藤万由佳(千葉市立稲毛高校)、清水萌絵(渋谷教育学園渋谷高校)、下園絢音(鹿児島県立鶴丸高校)、中嶋大耀(栄光学園高校)、藤田菜乃葉(県立多摩高校)、藤野こころ(渋谷教育学園渋谷高校)、松村文美(United Nations International School Hanoi)、水谷友哉(筑波大学附属駒場高校)、宮本陸央(渋谷教育学園渋谷高校)、目崎志歩(翔凜高校)、脇田理花(渋谷教育学園幕張高校)、渡邊理人(浅野高校)

(5) 日本高校生パラメンタリーディベート連盟西日本オープン 2021

HPDU of Kansai Japan Open 2021

主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟 (HPDU of Japan)

趣旨：西日本の高校生に、即興型であるパラメンタリーディベートの試合を行う機会を提供することで、西日本でのパラメンタリーディベートの認知を上げ、活動団体の増加を図る。また、即興型ディベートに取り組むことで、英語による論理的発信能力、問題発見解決能力、コラボレーション力、グローバル課題や時事問題についての基礎知識、そして緩急やジェスチャー、ユーモアを意識した聞き手目線の分かりやすいパブリック・スピーチ力を涵養できることを共有し、さらには高校

生と教員同士の交流を図り、共に学び合うコミュニティの構築を図る。さらには、教員のジャッジ養成も目標とする。

日時：2021年3月20日(土) 9:00～17:00

場所：オンライン（英語ディベート専用のプラットフォーム Mixidia を使用）

内容：World School Debate Championship(WSDC) Style（但し4分、4分、4分、4分、4分、4分、3分、3分）による英語ディベート大会。1チーム3～5名(1試合に出場するのは3人だが、試合ごとに選手入替可能)。人数が足りない場合は、運営側で他の個人申込者と組み合わせてチームを用意。2試合目以降はパワーペアリング。

参加資格：日本国内の高校生(留学生、帰国生、外国籍の生徒も含む)。パラメンタリーディベートの活動をすでに行っている高校生、または興味を持っている高校生。ただし、即興型英語ディベートの裾野を広げ、西日本での普及を主目的としているため、HPDU 連盟杯全国大会出場者の参加は不可とする。チームの人数編成は3名とし、1チームにつき帯同ジャッジ1名を義務付ける。学校単位の申込とし、担当教員の応募とする。

参加費：1チーム 3,000 円

日程：9:00-9:30 Registration

9:30-9:50 Opening Ceremony

10:00-11:10 Round1

11:30-12:40 Round2

12:50-13:30 Lunch

13:30-14:40 Round3

15:00-16:10 Round4

16:40-17:00 Closing Ceremony

参加校：参加校：翔凛高等学校、神戸大附属中等教育学校、奈良県立奈良高等学校、近畿大附属高等学校、小林聖心女子学院高等学校、福井県立藤島高等学校、鹿児島県立大島高等学校、徳島県立城東高等学校、徳島県立城ノ内高等学校、山口県立山口高等学校、大阪府立北野高等学校、白百合学園高等学校、カリタス女子高等学校、関西創価高等学校、神戸市立葺合高等学校 (15校26チーム)

Motions (論題)：

Round 1：This house would ban animal experiments.

Round 2：This house would make voting mandatory.

Round 3：This house would ban the consumption Of meat.

Round 4：This house would prohibit prisoners from publishing books of their crime.

試合結果:優勝 神戸大附属中等教育学校 A

準優勝 神戸大附属中等教育学校 B

3位 福井県立藤島高等学校 A、4位 カリタス女子高等学校 B、5位 神戸私立葺合高等学校 B
個人賞 カリタス女子高等学校 A 桑島里奈、奈良県立奈良高等学校 A 神船華帆、
神戸大附属中等教育学校 B 田路乃々華、神戸大附属中等が教育学校 A 平野未雪

招待ジャッジ：Natsumi Imura (宇都宮女子)、Ko [a 「0 Yoshida (筑駒)、宮本陸央(渋渋)、Yu Nakamura、Ko Watanabe (宇都宮高校)、Mill Iwanaga (同志社大学)、Tomoya Mi zutan i (筑駒)、Reo Kamakura、亀井ちえこ

(6) 第10回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯

HPDU Competition 2021 (Co-sponsored by HPDU and ESUJ)

共同主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟、一般社団法人 日本英語交流連盟

後援：文部科学省、ブリティッシュ・カウンシル、カナダ大使館

特別協賛：有限責任 あずさ監査法人

協賛：公益財団法人 日本英語検定協会、iae グローバルジャパン株式会社、株式会社テレビ東京、キヤノン株式会社、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、ANA ホールディングス株式会社

メディアパートナー：読売新聞社

協力：株式会社アルク、イーエムティー株式会社、エイムネクスト株式会社、株式会社EduLab、株式会社オールアバウト、公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団、油井アソシエイツ株式会社

趣旨：全国の高校生に、即興型であるパラメンタリーディベートの試合を行う機会を提供することにより、グローバル社会で活躍するのに必要とされる英語による論理的発信能力、問題発見解決能力、クリティカル・シンキング、コラボレーション力、グローバル課題や時事問題についての基礎知識、そして緩急やジェスチャー、ユーモアなどを意識した聞き手目線の分かりやすいパブリック・スピーチ力を養う。また、参加者間の交流を図り、共に学び合う関係を作る。

日時：1) 都道府県大会 2021年1月4日(月)～2月11日(木・祝)

2) 全国大会予選 (44チーム) 2021年3月21日(日) 9:30～17:45 頃・Zoom、LINEにて実施

3) 決勝トーナメント (上位8チーム) 2021年3月22日(月) 9:30～15:30 頃

場所：都道府県大会は各地域で決定、全国大会予選と決勝トーナメントはZoom、LINEにて実施

参加費：1チームにつき3,000円

内容：World School's Debating Championships(WSDC) Style (但し本大会用に修正を加えたもの) による英語ディベート大会 1チーム3名、予選4試合(2、3、4試合目はパワーペアリング) 各チームの勝ち数と得点ポイントで、上位8チームを決め、決勝トーナメント

全国大会参加資格：日本に住所がある高校に在学している学生(留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含む)のうち、日本高校生パラメンタリーディベート連盟に公式認定された各都道府県大会に参加して出場権を獲得した者、または本連盟より特別に出場権を与えられた者(同一都道府県内の出場希望校が1校のみであった場合など)日本高校生パラメンタリーディベート連盟に公式認定された各都道府県大会に参加し、出場権を獲得した高校生(留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含む)。

タイムテーブル：

第1日目 予選

8:50 点呼

9:20 第1試合 対戦表・論題発表(準備時間20分)

9:45 第1試合(約50分)

10:35 ジャッジによる勝敗の説明(30分)

11:25 第2試合 対戦表・論題発表(準備時間20分)

11:55 第2試合(約50分)

12:45 ジャッジによる勝敗の説明(30分)

13:15 休憩(昼食)

13:50 第3試合 対戦表・論題発表(準備時間20分)

14:15 第3試合(約50分)

- 15：05 ジャッジによる勝敗の説明（30分）
15：55 第4試合 対戦表・論題発表（準備時間20分）
16：25 第4試合（約50分）
17：15 ジャッジによる勝敗の発表なしのアドバイス（20分）
17：35 解散（結果発表はSNSで行います）

第2日目 決勝トーナメント

- 9：00 点呼
9：30 準々決勝 対戦表・論題発表（準備時間25分）
10：00 準々決勝（約50分）
11：15 準決勝 対戦表・論題発表（準備時間25分）
11：40 準決勝（約50分）
12：30 休憩（昼食）
13：00 決勝 対戦表・論題発表（準備時間25分）
13：30 決勝（約60分）
15：00 結果発表第1日目 予選

都道府県大会参加校：

- 愛知県（3）愛知県立旭丘高等学校、愛知県立千種高等学校、東海高等学校
茨城県（5）茨城県立竹園高等学校、茨城県立日立第一高等学校、茨城県立水戸第一高等学校、清真学園高等学校、東洋大学附属牛久高等学校
岩手県（2）岩手県立一関第一高等学校、岩手県立一関第二高等学校
大阪府（5）大阪府立北野高等学校、大阪府立豊中高校、関西学院千里国際中等部・高等部、関西創価高等学校、香里ヌヴェール学院高等学校
香川県（1）香川県立高松高等学校
鹿児島県（6）鹿児島県立大島高等学校、鹿児島県立鹿児島中央高等学校、鹿児島県立甲南高等学校、鹿児島県立鶴丸高校、鹿児島情報高等学校、ラ・サール高等学校
神奈川県（15）浅野高等学校、栄光学園高等学校、湘南白百合学園高等学校、聖光学院高等学校、洗足学園中学高等学校、神奈川県立厚木高等学校、神奈川県立鎌倉高等学校、神奈川県立相模原高等学校、神奈川県立湘南高等学校、神奈川県立多摩高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、カリタス女子高等学校、慶應義塾高等学校、逗子開成高等学校、桐光学園高等学校
埼玉県（3）埼玉県立伊奈学園総合高等学校、埼玉県立大宮高等学校、さいたま市立浦和高等学校
静岡県（8）静岡県立清水東高等学校、静岡県立浜松北高等学校、静岡県立浜松西高等学校、静岡県立藤枝東高等学校、静岡県立三島北高等学校、静岡県立吉原高等学校、常葉大学附属橘高等学校、藤枝明誠中学校高等学校
千葉県（7）芝浦工業大学柏高等学校、渋谷教育学園幕張高等学校、翔凜高等学校、千葉市立稲毛高等学校、千葉県立佐倉高等学校、千葉県立船橋高等学校、千葉県立松戸国際高等学校
東京都（20）攻玉社高等学校、渋谷教育学園渋谷中学高等学校、女子学院高等学校、白百合学園高等学校、成蹊高等学校、千代田区立九段中等教育学校、筑波大学附属駒場高等学校、東京学芸大学附属高等学校、東京都立小石川中等教育学校、東京都立国際高等学校、東京都立小平高等学校、東京都立千早高等学校、東京都立両国高等学校、豊島岡女子学園高等学校、獨協高

等学校、広尾学園高等学校、山崎学園富士見高等学校、三田国際学園高等学校、武蔵高等学校、早稲田大学高等学院徳島県(1)徳島県立城之内高等学校

栃木県(7) 私立作新学院高等学校、栃木県立宇都宮高等学校、栃木県立宇都宮女子高等学校、栃木県立宇都宮東高等学校、栃木県立大田原高等学校、栃木県立大田原女子高等学校、栃木県立佐野高等学校

富山県(1) 富山国際大学付属高等学校

長野県(1) 長野県立上田高等学校

兵庫県(1) 神戸大学附属中等教育学校

福井県(1) 福井県立藤島高等学校

(以上87校)

全国大会参加校：

愛知県 愛知県立千種高等学校、東海高等学校

茨城県 茨城県立日立第一高等学校、茨城県立水戸第一高等学校

岩手県 岩手県立一関第一高等学校

香川県 香川県立高松高等学校

埼玉県 さいたま市立浦和高等学校、埼玉県立大宮高等学校

鹿児島県 鹿児島県立大島高等学校、鹿児島県立鶴丸高等学校、ラ・サール高等学校

神奈川県 聖光学院高等学校、浅野高等学校、湘南白百合学園高等学校、神奈川県立多摩高等学校、栄光学園高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、洗足学園中学高等学校

静岡県 静岡県立三島北高等学校、静岡県立浜松西高等学校、藤枝明誠中学校高等学校、静岡県立浜松北高等学校

千葉県 翔凜高等学校、千葉市立稲毛高等学校、渋谷教育学園幕張高等学校

大阪府 関西学院千里国際中等部・高等部、関西創価高等学校

長野県 長野県立上田高等学校

東京都 東京都立小石川中等教育学校、東京都立国際高等学校、白百合学園高等学校、広尾学園高等学校、女子学院高等学校、千代田区立九段中等教育学校、渋谷教育学園渋谷中学高等学校、山崎学園富士見高等学校、筑波大学附属駒場高等学校

徳島県 徳島県立城ノ内高等学校

栃木県 栃木県立佐野高等学校、栃木県立宇都宮高等学校、栃木県立宇都宮女子高等学校

富山県 富山国際大学付属高等学校

福井県 福井県立藤島高等学校

兵庫県 神戸大学附属中等教育学校

(以上44高校44チーム132名)

Motions (論題)：

予選 Round 1 This house believes that the age of digital information (e.g. social media, online news, etc.) has done more harm than good in protecting democracy.

予選 Round 2 Given the technology, this house would erase society's memory and evidence of the criminal past of former convicts after their release from prison.

予選 Round 3 This house prefers a world without lying.

予選 Round 4 This house believes that, assuming Personal Protective Equipment is sufficiently available, medical workers during a pandemic should have the right to opt out of service.

準々決勝 This house believes that spouses of political figures should not be recognized as public figures.

準決勝 Instead of leaving the decision up to the producing company, this house would legally require that Self-Driving Cars produced by companies always choose to maximize the number of lives saved, even if it leads to the death of the passengers.

決勝 This house believes that hacking is a legitimate way of protest against multinational corporations.

予選大会結果:

順位	学校名	勝数	得点	順位	学校名	勝数	得点
1	聖光学院高等学校	4	1104.5	23	白百合学園高等学校	2	1061.5
2	筑波大学附属駒場高等学校	4	1101.0	24	茨城県立水戸第一高等学校	2	1059.0
3	千代田区立九段中等教育学校	4	1084.0	25	栃木県立宇都宮女子高等学校	2	1058.5
4	渋谷教育学園幕張高等学校	3	1105.0	26	栃木県立佐野高等学校	2	1055.0
5	渋谷教育学園渋谷中学高等学校	3	1096.5	27	東海高等学校	2	1054.5
6	さいたま市立浦和高等学校	3	1089.5	28	関西学院千里国際高等部	2	1052.5
7	東京都立国際高等学校	3	1086.5	28	富山国際大学付属高等学校	2	1052.5
8	洗足学園中学高等学校	3	1083.5	30	徳島県立城ノ内高等学校	2	1050.5
9	神戸大学附属中等教育学校	3	1080.0	31	ラ・サール高等学校	2	1049.0
10	広尾学園高等学校	3	1071.0	32	山崎学園 富士見高等学校	1	1073.5
11	千葉市立稲毛高等学校	3	1070.5	33	東京都立小石川中等教育学校	1	1069.5
12	愛知県立千種高等学校	3	1060.0	34	神奈川県立多摩高等学校	1	1062.0
13	関西創価高等学校	3	1056.0	35	静岡県立三島北高等学校	1	1053.0
14	栃木県立宇都宮高等学校	2	1091.0	36	静岡県立浜松北高等学校	1	1052.0
15	鹿児島県立大島高等学校	2	1090.0	37	福井県立藤島高等学校	1	1051.5
16	湘南白百合学園高等学校	2	1081.5	38	静岡県立浜松西高等学校	1	1049.5
17	浅野高等学校	2	1078.0	39	翔凜高等学校	1	1048.0
18	岩手県立一関第一高等学校	2	1076.5	40	鹿児島県立鶴丸高等学校	1	1046.5
19	埼玉県立大宮高等学校	2	1074.5	41	香川県立高松高等学校	1	1039.5
20	茨城県立日立第一高等学校	2	1070.0	42	藤枝明誠中学校高等学校	0	1048.0
21	女子学院高等学校	2	1069.5	43	神奈川県立柏陽高等学校	0	1038.5
22	栄光学園高等学校	2	1063.5	44	長野県上田高等学校	0	1032.0

ベストスピーカー:

順位	学校名	名前	得点
1	聖光学院高等学校	Shuhei Kaneko	319
2	渋谷教育学園幕張高等学校	Rika Wakita	318

2	筑波大学附属駒場高等学校	Kotaro Yoshida	318
4	鹿児島県立大島高等学校	HATA yuichiro	315
4	聖光学院高等学校	Naoki Shimada	315
4	渋谷教育学園幕張高等学校	Riko Yoshiura	315
4	筑波大学附属駒場高等学校	Seiichiro Tsutagawa	315
8	渋谷教育学園幕張高等学校	Sakura Miyashita	314
8	東京都立国際高等学校	Yuma Taniguchi	314
8	渋谷教育学園渋谷中学高等学校	Yuto Kida	314
8	筑波大学附属駒場高等学校	Tomoya Mizutani	314
8	栃木県立宇都宮高等学校	Haruki Sadaoka	314
13	さいたま市立浦和高等学校	Yuriko Suzuki	313
13	洗足学園中学高等学校	Rinka Maruyama	313
13	渋谷教育学園渋谷中学高等学校	Misaki Taniguchi	313
16	聖光学院高等学校	Keitatsu Furukawa	312
16	栃木県立宇都宮高等学校	Taiki Matsuda	312
18	さいたま市立浦和高等学校	Momona Nakajima	311
18	鹿児島県立大島高等学校	SENTA Juri	311
18	浅野高等学校	Amano Haruto	311
18	湘南白百合学園高等学校	Miyu Aoki	311
18	千代田区立九段中等教育学校	Tsuchiya Taiki	311
18	渋谷教育学園渋谷中学高等学校	Kokoro Fujino	311

決勝大会結果：

- 優 勝： 筑波大学附属駒場高等学校
 準優勝： 渋谷教育学園渋谷中学高等学校
 3 位： さいたま市立浦和高等学校、聖光学院高等学校
 5 位： 洗足学園中学高等学校、千代田区立九段中等教育学校、
 渋谷教育学園幕張高等学校、東京都立国際高等学校

ジャッジ（審査員）：パラメンタリーディベート経験豊富な社会人と大学生をジャッジとして招待した。予選大会では各ディベートに対し1人のジャッジが審査を行い、予選第1試合と第2試合終了後にはジャッジが口頭で試合の勝敗とその理由を説明した。準々決勝では各ディベートに3人、準決勝では5人、決勝では11人のジャッジが審査を行った。

招待ジャッジリスト：

- 1 小野暢思 Mitsushi Ono 審査委員長/慶應義塾大学KDS OB 32 times champion
- 2 齋藤陸 Riku Saito 慶應義塾大学2年、渋谷教育学園渋谷OB 第7回HPDU杯全国大会 優勝・ベストスピーカー、Taylor's Debate Open 2020 Open Best Speaker
- 3 大村圭史 Yoshifumi Omura 名古屋大学ディベート部OB Semifinalist, 2nd best EFL speaker, Taiwan Pre-NEAO 2018
- 4 ジョタモイ ミシュラ Jyotirmoy Mishra ASET・UADC 2020 breaking judge, 12th over all best

- judge Asia·UCL Schools CA · Nagoya Debate Open, 2nd best judge·North American University debate championship (NADC) breaking judge, open quater panel
- 5 田飼伸匡 Nobumasa Tagai 京都大学ESS OB 第34回JPDU全国大会 優勝
 - 6 榎本直樹 Naoki Enomoto Titech ESS OB Semi Finalist, NEAO 2015/ Quarter Finalist Japan BP 2018 / Best Adjudicator, Japan BP 2016/ 5th Best Adjudicator, JPDU Autumn Tournament 2019
 - 7 倉田芽衣 May Kurata 渋谷ディベート部OG 2015年HPDU杯優勝、2018 Aoyama Women's Cup優勝、2019 Kyushu Debate Open Semi Finalist, 2017 Nagoya Debate Open Breaking Adjudicator, 2020 JUDC Online DCA, 2020 HPDU Invited Judge香川沙也 Saya Kagawa AGU 7th Best Adjudicator, Umeko Cup 2019/ Semi Finalist
 - 8 溝上力 Chikara Mizokami 東京大学英語ディベート部 OB JPDU 春季全国大会 2015 優勝/個人最優秀賞 JPDU 春季全国大会 2018 最優秀審査員賞 JPDU 秋季全国大会 2019 最優秀審査員賞
 - 9 北田瑞希 Mizuki Kitada 九州大学ディベート部OG JPDU Autumn Tournament 2020 Quarter Finalist、Aoyama Women's Cup 2020 Grand Finalist
 - 10 光永隼也 Shunya Mitsunaga 大阪大学 ディベート歴6年 Japan BP 2018, Grand finalist and 8th best speaker etc
 - 11 渡邊康 Ko Watanabe 宇都宮高校英語部 OB、春から関西学院大学ディベート部1年 第8回HPDU杯全国大会 5位、JWSDC2019 5位、HUFYS YTN Youth debating championship 2018 オクトファイナリスト
 - 12 渡邊瞭 Ryo Watanabe 早稲田大学ディベートサークル(WAD)OB JPDU Spring Tournament 2018 Champion/ ICU Tournament 2018 Quarter Finalist/ Gemini Cup 2018 Breaking Adjudicator & 5th Best Adjudicator/ Gemini Cup 2017 Breaking Adjudicator/ JPDU Spring Tournament 2016 Breaking Adjudicator
 - 13 馬場琢淳 Takua Baba KDS/ Melbourne University Debating Union 2016年 HPDU杯全国大会優勝/ WUDC 2019 EFL champion
 - 14 久保大輔 Daisuke Kubo 近畿大学英語研究会 OB The Kansai Semi Finalist 2015, 2020 Winner of BP novice West 2015, 2016 NEAO EFL Quarter Finalist 2016 Japan BP Quarter Finalist 2017 ICUT Quarter Finalist 2018 Golden Cup Grand Finalist 2018, 2019
 - 15 加藤彰 Akira Kato 東大ディベート部卒業生 アジア大会日本人記録、日本全国大会優勝、北東アジア大会審査委員長、高校生世界大会招聘審査員など
 - 16 兪在炫 Jaehyun Yu 東京医科歯科大学医学科1年 2018 HPDU杯千葉大会 Best Speaker/2位, 2018 HPDU杯全国大会 11位, 2020 HPDU杯千葉大会 2nd Best Speaker/優勝
 - 17 ライ・メルビン Melvin Lai 渋谷教育学園幕張高等学校教諭
 - 18 黒健 Ken Kuroki ICU Debating Society OB / 東京大学英語ディベート部 OB 国際大会ジャッジブレイク3回
 - 19 栗原悠太朗 Yutaro Kurihara 東京大学ディベート部5年 ESL Finalist & Top 3 EFL Speaker, WUDC 2019 Capetown
 - 20 榎澤哲 Tetsu Kurumisawa 元駒場東邦高等学校ディベート部 (ギャップターム生)
 - 21 伊藤翼 Tsubasa Ito 宇都宮高校 OB 慶應大学ディベートサークル2年 第7回HPDU連盟杯 QF, Gemini Cup 2020 優勝, Autumn Nationals 2020 ルーキーチャンピオン, The Kansai Semi-finalist

- 22 浦野眞 Mas Urano 早稲田大学OB Champion of JPDU Spring Tournament 2018, Champion of Ryoso Cup 2018, Champion of Titech Cup 2018, Grand Finalist of Nagoya Debate Open 2019, Grand Finalist of Japan Pre-Australis 2016, Semifinalist of Hong Kong Debate Open 2017, Semifinalist of CUDS Open 2021, Semifinalist of The Kansai 2018
- 23 尾島良汰 Ryouta Ojima ICU 大学ディベート部1年 第八回 HPDU 杯全国大会優勝
- 24 八十田慶 Kei Yasoda 東京大学英語ディベート部 2018HPDU 千葉準優勝
- 25 今井鷹志 Takashi Imai 上智大学ディベートサークルOB JPDU autumn tournament break
- 26 ヒミマイモナモスタリ Himi Mymona Mostari 国際教養大学 Debating society (AIUDS) second year Japan BP 2019 : novice semi-finalist. The Kansai 2020, Quarter finalist. Diliman Debate Open 2020, Open break, Quarter Finalist. KIDA open 2020, Novice Grand-finalist. Birmingham ESL, novice grand finalist, 8th best speaker. ADU online Novice Championship, open semi finalist. KCL proam 2020, semi finalist. Icho cup 2019, Oct-finalist, 8th Best Speaker. Wakaba Cup 2019, rookie quarter finalist, 2nd best team, 3rd Best Speaker. Odessa ESL, 5th open break and Grand Finalist.
- 27 宮澤愛花 Miyazawa Aika ICUDS <debater> WUDC 2020, ESL Quarterfinalist, EFL 6th best speaker、UT MARA Open 2019 Open Semi finalist, 2nd best speaker <Judge>JPDU Spring nationals 2019, 8th best Adjudicator
- 28 小澤俊哉 Toshiya Ozawa 慶應義塾大学 KDS <Adjudicator>-Overall Best & GF Adjudicator, Taiwan Debate Open 2019、-10th Best Adjudicator, ICU Tournament 2019、-CA, Keio Debate Open 2020 (Debate no Susume 2020)、-CAP & GF Adjudicator, Icho Cup 2019 & Osawa Cup 2019 & Aoyama Women's Cup 2019 <Debater>-Open Champion, Top Breaking Team, 7th Best Speaker, The Kansai 2020、-Open Grand-finalist, Top Breaking Team, 2nd Best Open Speaker, JPDU Autumn Tournament 2019、-Open Semifinalist, Best Novice & 12th Best Open Speaker, Beijing Debate Open 2019、-Open Quarterfinalist, North East Asian Open 2019 & Japan BP 2019 & Keio Debate Open 2019
- 29 Navia Zhang Grade 11 at Hong Kong International School · Grand Finalist in the 2020 Diplomatic Academy of Vietnam Debate Open, out of 80 participating teams, 14th best Open speaker out of 150+ speakers · Semi-finalist in the 2019 Hong Kong British Parliamentary Debate Competition, 8th breaking team out of 88 participating teams · Semi-finalist in the 2020 3rd Linkbate Debating Championships out of 74 participating teams, 16th best Open speaker out of 147 speakers · Quarter finalist of the 2020 Asia Schools Debating Open, 7th breaking team out of 70 teams, 17th best Open speaker out of 140 speakers · Quarter Finalist representing Team Hong Kong in the Hong Kong Debate Open 2020 out of 41 national teams worldwide · Quarter-Finalist of 2020 Hong Kong British Parliamentary Debate Competition out of 80 participating teams
- 30 佐藤遼 Sato Ryo 開成高校弁論部3年
- 31 吉田 遼介 Ryosuke Yoshida 東京大学 英語ディベート部2年 [Debater] Open Break - Doxbridge Worlds 2021, Asian Octo-Finalist, 18th Speaker on Tab, Bangladesh UADC (United Asian Debating Championships) 2020 Open Semi-Finalist, Solbridge NEADC (North East Asia Debating Championships) 2020 [Judge] Breaking Adjudicator - LSE Open 2021 Breaking

Adjudicator - Malaysia ABP (Asian British Parliamentary Debate Championships) 2020 Open Grand Final Judge - Monash Debate Open 2020 , IIUM Open 2020, The Alfaaz Open 2021 2nd Best Adjudicator - Japan Nationals (Autumn) 2020 Best Adjudicator - The Kansai 2021, Icho Cup 2020, Evergreen Cup 2020

32 松下雄樹 Matsushita Yuki 青山学院大学、一橋大学OB NEAO ESL セミファイナル

33 綾部功 Isao Ayabe 東海大学教授 東工大杯優勝 (2006) 、九州ディベートオープン、セミファイナルリスト (2015、2016) 等

他3名 計 36名

ボランティア：ボランティア：運営委員16名、他に大学生17名、社会人18名【合計】51名

HPDU役員以外の運営委員：倉田芽衣、神崎花南、杉本絢香、高桑文子、吉野舞起子、足羽美空、小檜山沙永、矢澤怜奈、北原璃莉奈、濱野綾音

各種教育奨励賞：

- 1) ESUJ 賞：コロナ禍での英国 ESU Debate Academy 開催困難なことに鑑み、優勝チームのディベーター1名につき教育奨励金として10万円贈呈。総額30万円。
- 2) あずさ監査法人賞：参加者全員にパラメンタリーディベート練習用テキストを贈呈。
- 3) 日本英語検定協会賞：予選ベストスピーカー賞受賞生徒、決勝トーナメント出場校に図書カードを贈呈。
- 4) 日本フィルハーモニー交響楽団賞：上位4チームに音楽CDを贈呈。
- 5) キヤノン賞：優勝チームにデジタルカメラとSDカードを贈呈。
- 6) キヤノンマーケティングジャパン賞：準優勝チームにスマホ専用ミニフォトプリンターを贈呈
- 7) アルク賞：予選大会ベスト16以上のチームに書籍を贈呈。

(7) 第10回 高校生英語パラメンタリーディベート連盟 新緑杯

HPDU Spring Greenery Competition 2021

主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟

後援：公益財団法人 日本英語検定協会、一般社団法人 日本英語交流連盟

協賛：有限責任 あずさ監査法人

協力：iae グローバルジャパン株式会社、エイムネクスト株式会社、株式会社EduLab、株式会社オールアバウト、油井アソシエイツ株式会社

日時：2021年6月13日(日) 8:30~17:30

場所：オンライン Zoom、LINE にて実施

参加費：1チームにつき3,000円

- 主旨：
- (1) パラメンタリーディベートを通して高校生の総合的英語運用能力を伸ばす。
 - (2) 経験者が新人ディベーターを育成する機会の提供。
 - (3) 様々な社会問題に興味関心を持つ態度を養う。
 - (4) 高校教員のジャッジ養成。

参加資格：(1) 日本に住所がある高校に在学している1学年から3学年までの生徒(留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含む)。

(2) 第2回新芽杯に参加していない学校の生徒。

(3) 1チームにつき1名のジャッジ派遣

チーム構成の条件：

- (1) チームの登録人数は3人。チーム内には必ず新人ディベーターが1人は含まれていること。新人ディベーターとは、パラメンタリーディベート経験がおおよそ10ヵ月未満の生徒を指します。
- (2) 同一校のチームの参加とします。ただし、英会話スクールなど HPDU が認めた高等学校以外の団体は例外とします。

試合形式：ノースアメリカンスタイル（7分、7分、7分、7分、4分、4分）

1チーム3名、4試合（2試合目以降はパワーペアリング）、準備時間は20分。

日 程：8：30～ 8：45 受付
8：45～ 9：15 開会式
9：15～ 9：25 第1試合 対戦表、論題発表
9：25～10：45 準備（20分間）、試合
11：10～11：20 第2試合 対戦表、論題発表
11：20～12：40 準備（20分間）、試合
12：40～13：15 昼食
13：15～13：25 第3試合 対戦表、論題発表
13：25～14：45 準備（20分間）、試合
15：10～15：20 第4試合 対戦表、論題発表
15：20～16：40 準備（20分間）、試合
17：00～ 表彰・閉会式

参加校：茨城県 日立第一高等学校、緑岡高等学校、水戸第一高等学校
埼玉県 さいたま市立浦和高等学校、川越女子高等学校
神奈川県 相模原高等学校、聖光学院、浅野高等学校、洗足学園中学高等学校、
逗子開成中学校高等学校
千葉県 松戸国際高等学校、千葉市立稲毛高等学校、渋谷教育学園幕張高等学校
翔凜高等学校、
大阪府 関西創価高校
長野県 UWC ISAK Japan
東京都 渋谷教育学園渋谷高等学校、白百合学園高等学校、早稲田大学高等学院
都立両国高等学校、都立国際高等学校、千代田区立九段中等教育学校
東京学芸大学附属高等学校、広尾学園高等学校、成蹊高等学校、
筑波大学附属駒場高等学校、豊島岡女子学園高等学校
徳島県 徳島県立城ノ内中等教育学校・高等学校
富山県 富山国際大学付属高等学校
福井県 福井県立藤島高等学校
兵庫県 神戸大学附属中等教育学校

(以上 31校、46チーム)

Motions(論題)：

Round 1: This house would designate one city to permanently host the Olympics.

Round 2: This house would aggressively prioritize the posting of female diplomats to

countries with poor women's rights records.

Round 3: This house would ban the display of art created with the intended purpose or reasonably likely outcome of creating offence.

Round 4: This house believes that if technology permitted us to identify people who are genetically predisposed to commit crimes, it would be appropriate for the state to monitor them and limit their activities.

試合結果：チーム順位

優勝 洗足学園中学高等学校

準優勝 広尾学園高等学校 B

3位 渋谷教育学園渋谷高等学校 B

4位 渋谷教育学園幕張高等学校 A、UWC ISAK Japan、広尾学園高等学校 A

7位 さいたま市立浦和高等学校 A、渋谷教育学園渋谷高等学校 A、徳島県立城ノ内中等教育学校

ベストスピーカー賞 経験者

1位 豊島岡女子学園高等学校 加納 彩瑛

2位 翔凜高等学校 秋山 丈一、さいたま市立浦和高等学校 戸村 優月

4位 UWC ISAK Japan 青木 まりか、筑波大学附属駒場高等学校 大庭 千羽哉

ベストスピーカー賞 初心者

1位 広尾学園高等学校 沈 延禹、洗足学園中学高等学校 小川 凜々

3位 渋谷教育学園渋谷高等学校 根来 一葉、聖光学院 畑田 直樹

ボランティア：運営委員 8名、高校生 12名、社会人 1名【合計】21名

HPDU役員以外の運営委員：岩崎志帆、室永怜奈

チーフジャッジ：小野暢思

(8) 第2回 高校生英語パラメンタリーディベート連盟 新芽杯

HPDU Sprout Cup 2021

主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟

後援：公益財団法人 日本英語検定協会、一般社団法人 日本英語交流連盟

協賛：有限責任 あずさ監査法人

協力：iae グローバルジャパン株式会社、エイムネクスト株式会社、株式会社EduLab、株式会社オールアバウト、油井アソシエイツ株式会社

日時：2021年6月13日（日）8:45～16:30

場所：オンライン Zoom、SLACK にて実施

参加費：1チームにつき 3,000 円

- 主旨：（1）総合的英語運用能力向上に有効であるパラメンタリーディベートのルールや技を学ぶ。
（2）大会出場経験が少ない高校生たちに対外試合の機会を与える。
（3）身近な問題や社会の問題について論理的で説得力のあるスピーチを即興でできる力を伸ばす。
（4）高校教員のジャッジ養成。

試合形式：試合：ノースアメリカンスタイル（4分、4分、4分、4分、3分、3分）

1チーム3名、3試合（2・3試合はパワーペアリング）、準備時間は30分とする。

参加資格：（１）日本に住所がある高校に在学している１学年から３学生までの生徒(留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含まれます)。

（２）第 10 回新緑杯に参加していない学校の生徒。学校として新緑杯、新芽杯いずれか 1 つの大会に参加して頂くことになります。

（３）１チームにつき 1 名のジャッジ派遣

チーム構成の条件：

（１）チームの登録人数は 3 人。チーム内には必ず新人ディベーターが 1 人は含まれていること。新人ディベーターとは、新人ディベーターとは、1 年生、またはパラメンタリーディベートの公式大会に参加したことがない 2、3 年生を指します。

（２）同一校のチームの参加とします。ただし、英会話スクールなど HPDU が認めた高等学校以外の団体は例外。

日程： 8：30～ 8：45 受付

8：45～ 9：15 開会式

9：15～ 9：25 第 1 試合 対戦表、論題発表

9：25～ 10：45 準備（30 分間）、試合

11：10～ 11：20 第 2 試合 対戦表、論題発表

11：20～ 12：40 準備（30 分間）、試合

12：40～ 13：15 昼食

13：15～ 13：25 第 3 試合 対戦表、論題発表

13：25～ 14：45 準備（30 分間）、試合

15：45～ 表彰・閉会式

参加校：愛知県 愛知県立旭丘高等学校、愛知県立千種高等学校、東海高等学校

秋田県 秋田県立角館高等学校

茨城県 茨城県立竹園高等学校、茨城県立並木中等教育学校、東洋大学附属牛久高等学校、清真学園高等学校・中学校

愛媛県 愛媛県立今治西高等学校

鹿児島県 鹿児島県立大島高等学校、鹿児島中央高校

神奈川県 神奈川県立柏陽高等学校、神奈川県立多摩高等学校

埼玉県 埼玉県立大宮高等学校

静岡県 静岡聖光学院高等学校

東京都 明治大学付属明治高等学校、東洋英和女子学院、攻玉社高等学校、東京都立田柄高等学校、東京都立千早高等学校、東洋英和女子学院、獨協高校、ECC ジュニア東京練習会

徳島県 徳島県立富岡西高等学校

兵庫県 神戸市立葺合高等学校

福岡県 福岡雙葉中学・高等学校

山口県 山口高等学校

（27校 40チーム）

Motions(論題)：

Round 1: This house believes that giving money as a birthday gift is good for both parents and their children in high school.

「本院は、親とその高校生の子どもにとって誕生日プレゼントとして現金を渡すことは良いと信じる」

Round 2: In order for high school students to confess their love, this house believes that sending message on smartphone is better than face-to-face talk.

「本院は、高校生が愛を告白するときには、スマホでメッセージを送って伝える方が、直接会って話すより良いと信じる」

Round 3: This house would ban too skinny models (with a *BMI below 18.5) from showing up in media.
*The World Health Organization considers people with a BMI below 18.5 to be underweight and at risk of being malnourished

「本院は、やせすぎのモデル(*BMI18.5以下のモデル)がメディアに登場することを禁止する」

試合結果：優勝：神奈川県立柏陽高等学校 準優勝：明治大学附属明治高等学校

3位：神奈川県立柏陽高等学校 4位：東洋英和女子学院校 5位：攻玉社高校

ボランティア：運営委員3名、高校生4名【合計】6名

HPDU役員以外の運営委員：栗原璃音、清水萌絵、下山優里香、隅佑香

(9) 理事によるディベート普及活動

北原理事長

- ・2020年11月7日 「第1回SDGs teacher's Forum」にパネラーとして参加、SDGs達成に必要なスキル育成のための有用なトレーニング法としてディベートを紹介
- ・2021年3月25日 読売新聞東京本社による取材(教育ネットワークHP用記事執筆のため)
- ・2021年6月30日 「文部科学省WWL・SGHネットワーク令和3年度連絡協議会」において、HPDU、SOLA Cup 2021、模擬G7サミット2021を紹介

小林理事

- ・2019年10月より 東京書籍 高等学校外国語科用 文科省検定教科書「論理・表現1」編集委員(主に英語ディベートに関して編集・助言)
- ・2020年8月10日 「第6回議論額国際学術会議」にて、英語ディベート関連の口頭発表
- ・2020年2月2日 HPDU 茨城県大会審査員長
- ・2021年3月14日 「第7回ディベート教育国際研究会大会」にて、英語ディベート関連の口頭発表
- ・2021年3月30日 HPDUの公式サイトにて「英語ディベート高校授業用テキスト(教員用)」PDFファイルを一般公開
- ・2021年5月14日 大修館「英語教育2021年6月号」にて英語ディベート指導関連の小論文を掲載

浜野理事

- ・2020年7月10日 「まったく話せない高校生が半年で話せるようになり1年で議論できるようになる英語習得法」を出版
- ・2020年7月18日 WEDGE Infinityに記事掲載。「学校教育でも英語は話せるようになる」
- ・2020年9月2日 PDA 神奈川教員向けディベートワークショップ 講師
- ・2021年1月17日 Asahi Weekly に記事掲載。「英語ディベート」指導法①について
- ・2021年2月14日 Asahi Weekly に記事掲載。「英語ディベート」指導法②について
- ・2021年2月5日 文部科学省 高等学校外国語新学習指導要領の趣旨を踏まえた「統合的な言語活動

による英語4技能の育成及び発信力の強化」に資する指導事例 動画掲載

- ・2021年3月11日 日本テレビ朝の情報番組ZIP「星星のベラベラ ENGLISH」撮影協力
- ・2021年4月10日～11日 Prague Debate Spring 2021 大会参加チーム引率
- ・2021年6月19日 日米交歓ディベート 米国トップディベーターとの交流試合。
- ・2021年6月23日 日本漢字能力検定協会 TEAChannel -言語活動サイト 撮影協力
- ・2021年7月20日 Benesse English Seminar -新教育課程で育成すべき力と大学入試で問われる力の指導と評価を考える- パネリスト

須田理事

- ・2020年8月28～30日 中高生向けの大会「Tsukukoma Schools Open」(主催:筑駒語学部・共催 Tokyo Debate Academy 他)の開催
- ・公益財団法人 日本英語検定協会 英語教育研究センター ウェブサイトで、Web ショートプレゼンテーション「即興型英語ディベートによる英語学習の動機づけに関する研究」を公開中。
https://www.eiken.or.jp/center_for_research/movies/index.html

河野理事

- ・2020年4月3日 神奈川県立相模原高等学校教員研修
- ・2020年4月4日 ECC Jr 中学・高校生向けワークショップ
- ・2020年4月25日 ECC Jr 中学・高校生向けワークショップ
- ・2020年5月5日 教員・社会人向けワークショップ
- ・2020年5月9日 栃木県立宇都宮高校向けワークショップ
- ・2020年5月10日 ECC Jr 中学・高校生向けワークショップ
- ・2020年5月16日 岩手県立一関第一高等学校向けワークショップ
- ・2020年6月13日 オンラインディベート大会・練習会レクチャー
- ・2020年6月28日 神奈川県高校練習会
- ・2020年7月3日 ECC Jr 中学・高校生向けワークショップ
- ・2020年8月1日 京都府教員向けオンラインディベート講習会
- ・2020年8月5日 福井県立藤島高等学校向けワークショップ
- ・2020年8月6日 福井県立藤島高等学校向けワークショップ
- ・2020年8月16日 教員・社会人向けワークショップ
- ・2020年8月23日 東京都立小石川高等学校向けワークショップ
- ・2020年8月30日 ESUJ 教員向けディベートワークショップ
- ・2020年9月6日 岩手県教員向けワークショップ
- ・2020年9月6日 徳島県教員向けワークショップ
- ・2020年11月9日 神奈川総合高等学校教員研修
- ・2020年12月13日 鹿児島県高校生向けワークショップ
- ・2021年1月3日 ESUJ 教員向けディベートワークショップ
- ・2021年1月5日 ESUJ 教員向けディベートワークショップ
- ・2021年1月19日 秋田県立角館高等学校向けワークショップ
- ・2021年2月11日 HPUD 愛知県大会 大会審査委員長
- ・2021年2月11日 神奈川県高校練習会

- ・2021年2月11日 HPUD 神奈川県大会 大会委員長
- ・2021年2月13日 岩手県立関第高等学校向けワークショップ
- ・2021年2月27日 教員向けオンラインディベート練習会
- ・2021年3月10日 三省堂より「中学・高校英語ディベート入門」を出版
- ・2021年3月27日 教員向けオンラインディベート練習会
- ・2021年3月28日 ECC Jr 教員向けワークショップ

その他

- ・高校生世界大会(WSDC)日本代表ヘッドコーチ
- ・全国校長会記念講演「英語ディベート入門」
- ・文部科学省主催動画シリーズ「ここからはじめる英語ディベート」総括コメンテーター担当

小野チーフコーチ

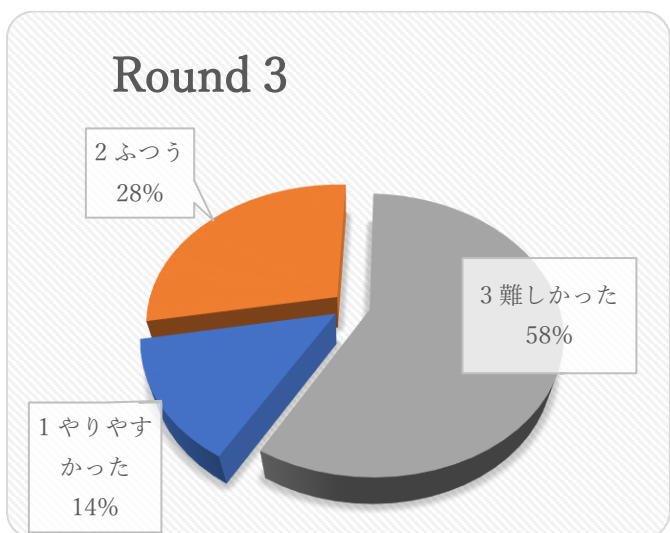
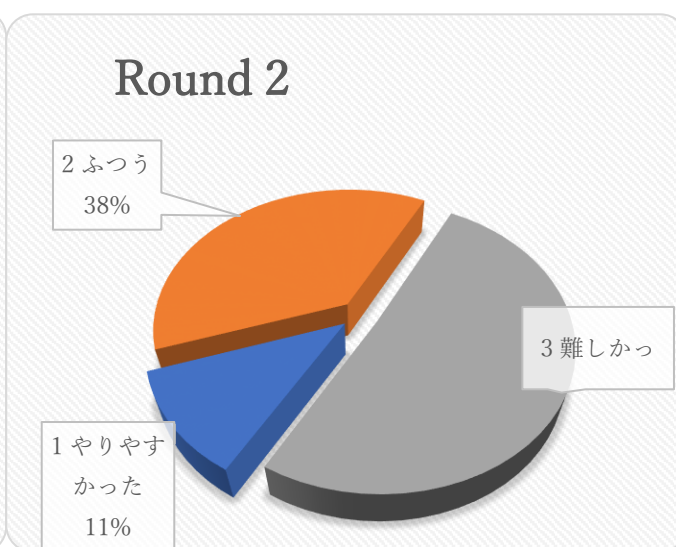
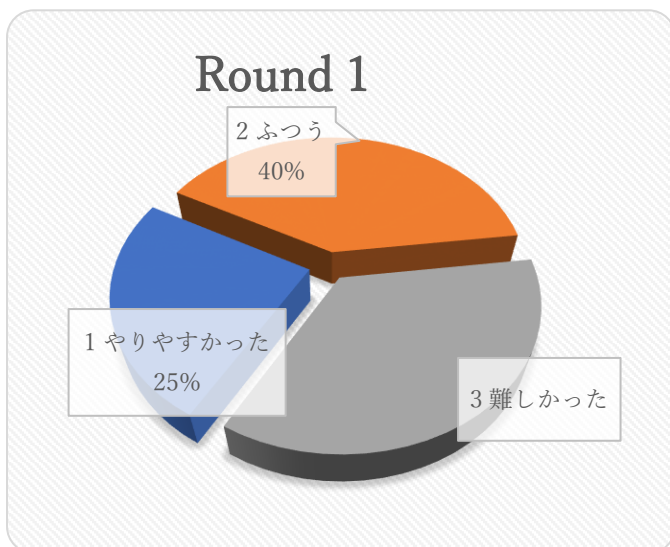
- ・2021年1月10日 社会人英語ディベート練習会 Mitsushi Debate Bootcamp 主催
- ・2021年2月7日 HPDU 東京大会審査員
- ・2021年3月13日 Mixidea ルートH大会審査員
- ・2021年3月21日 HPDU 全国大会審査員
- ・2021年6月13日 新緑杯審査員長

加藤四国・九州代表

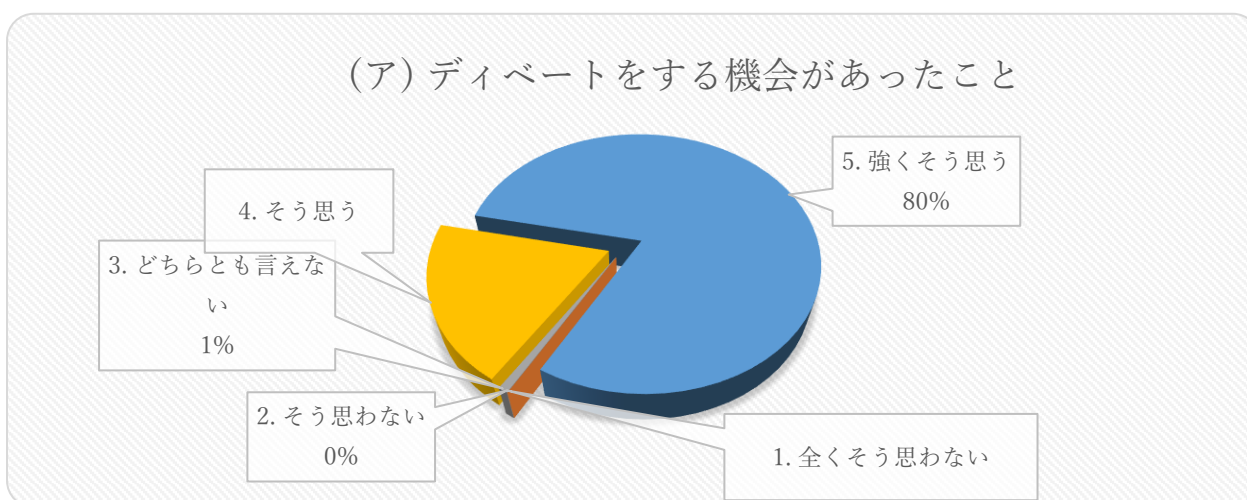
- ・2020年8月2日 高校生世界大会招聘審査員/準決勝審査員(日本初)
- ・2020年9月17日 「即興型ディベートの教科書」出版、寄贈等(各種ディベート部、HLABなどの教育系企業/団体、図書館等)
- ・2021年6月 Amazon1位ベストセラー(産業研究)など
- ・2020年11月23日 大学北東アジア大会審査委員長
- ・2021年1月19日 StudyHacke 「(月間100万PV)記事掲載
- ・2021年3月13日 第7回ディベート教育国際研究会 学会発表
- ・2021年5月22日 即興型ディベート練習法セミナー開催(CDS主催、HPDU 四国九州後援:約50名の参加者)

■ 解答総数 130

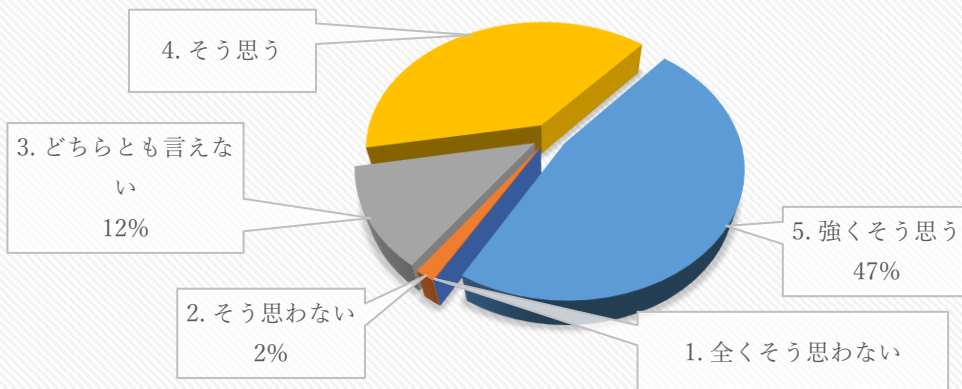
1. 予選試合の論題はどうでしたか



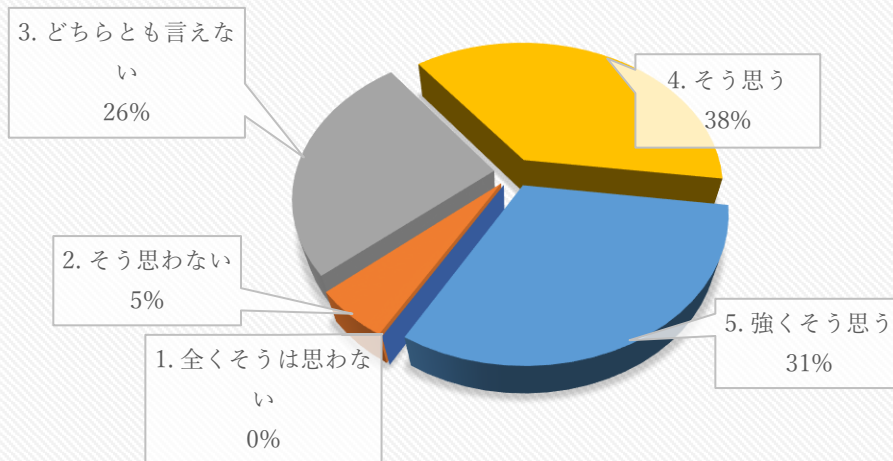
2. この大会で良かったことは何ですか。



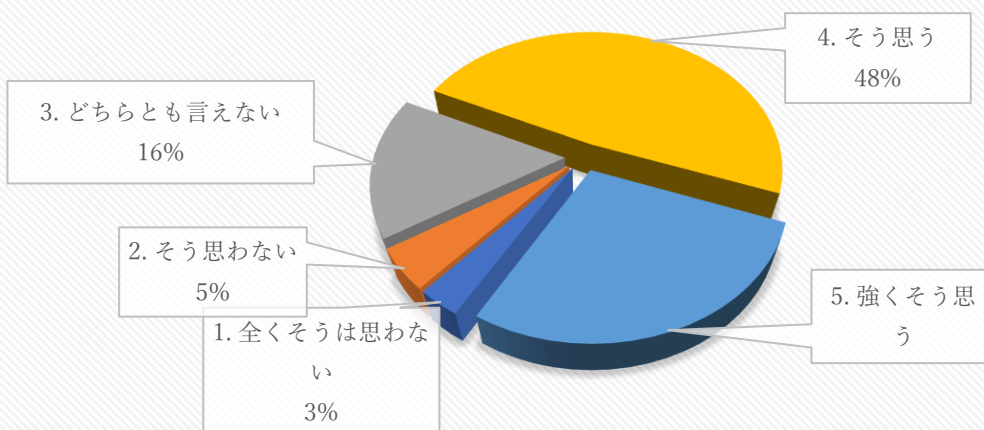
(イ) ジャッジの講評が参考になったこと



(ウ) 他校の生徒を見て励みになったこと



(エ) 他校の生徒と交流ができたこと



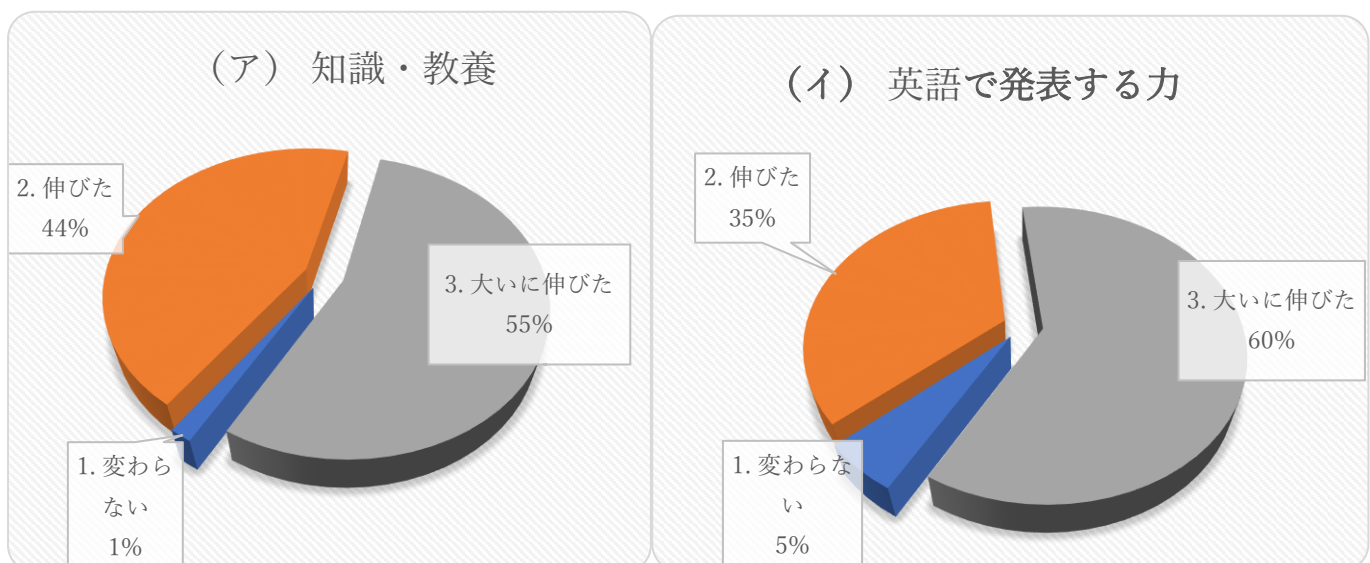
■自由記述①「その他に良かったことがあれば、こちらにご記入下さい」

- ・私は、初めて HPDU 様の全国大会に参加をさせて頂きました。非常にスムーズに進行をして頂きましたので、非常に楽しませてさせて頂けたと感じます。
- ・いつもとは違うジャッジの先生に見ていただいたので、新しい観点でのフィードバックをもらうことができた

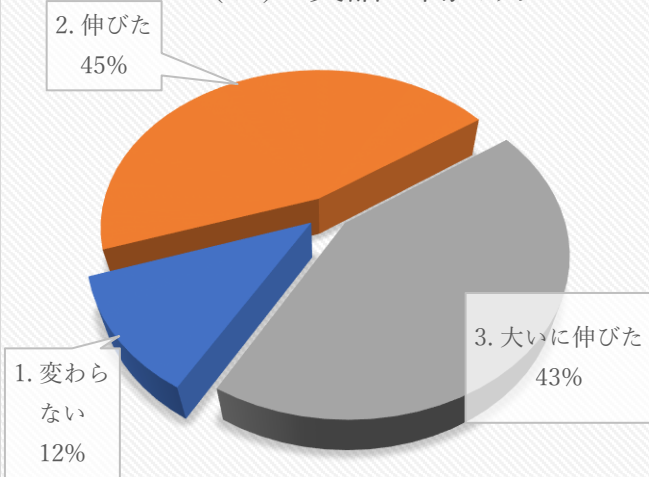
こと。

- ・丁寧にジャッジの方にRFDをしていただいたこと。
- ・ジャッジにいただいたリフレクションの厚み
- ・自分の課題が沢山見つけられました。他校の生徒さんのスピーチやジャッジの方のコメントを聞いて、論の立て方など自分に不足している部分に気づくことが出来たので、これからの練習に活かしていきたいです。
- ・初めてする論題ばかりで、とても勉強になりました
- ・ジャッジさんの講評がめちゃくちゃためになりました。ありがとうございました。
- ・モーションにバラエティがあって、色々なことについて考え、考えを共有し合うことができたのが良かったです。とても楽しい一日となりました！
- ・スムーズな運営ありがとうございました
- ・論題が面白かった。
- ・自分に足りてない部分が明らかになった
- ・知識を深められたこと 色々な人と対戦できたこと
- ・他校の方々とディベートをできた事は本当に貴重でした。ジャッジからのコメントも自分の弱点克服に繋がりました。
- ・仲間と本音で話して協力する機会が得られたこと、英語で多くの人の前で主張する機会が得られたこと
- ・全国のレベルを肌で感じられたこと。
- ・レベルの高いチームと戦えて嬉しかったです！
- ・同世代でディベートに取り組んでいる人に会うことができ刺激をもらった
- ・オンラインなので、休憩時間は休みやすいです！
- ・他校の強いチームと試合できたことが自分たちのこれからの練習意欲の向上につながったのがとても良かったです。
- ・自分たちでは思いつかない未知の論題に出会えたことがすごく貴重で有難かったです。
- ・視野を広げることが出来たこと
- ・すべて初めて取り組んだモーションだったので、難しかったですがとても勉強になりました。
- ・楽しかったです

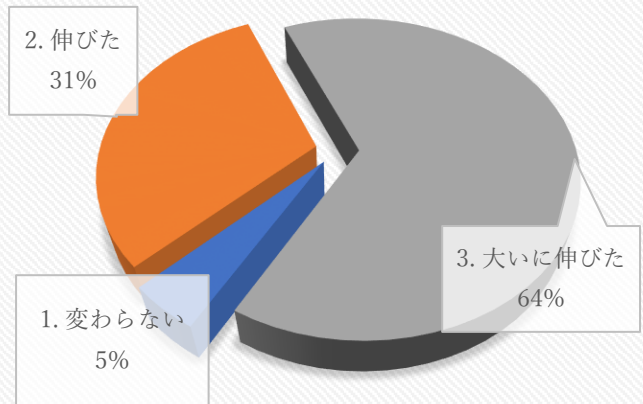
3. Parliamentary Debate を通して、どのような力が伸びたと思いますか。



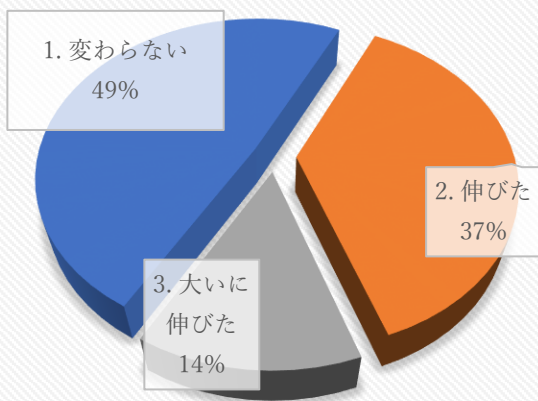
(ウ) 英語を聞く力



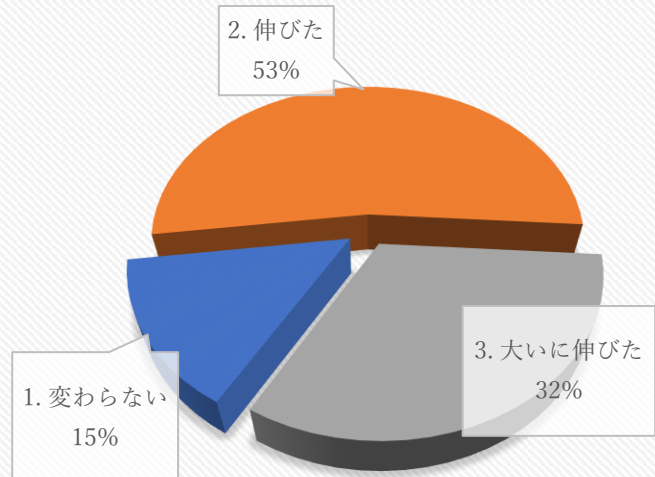
(エ) 論理的思考力



(オ) 英語の文法力

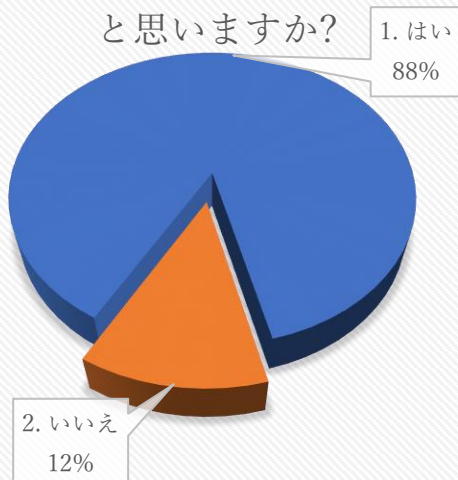


(カ) 英語の語彙力

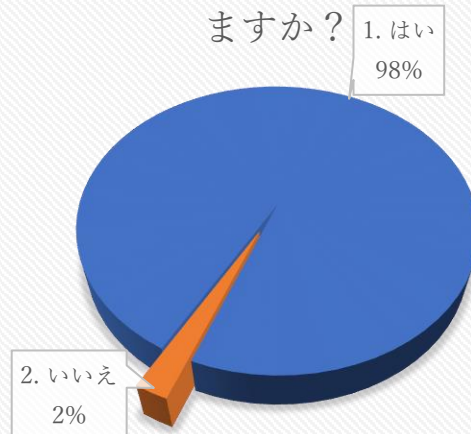


4. Parliamentary Debate(PD) についてお答えください。

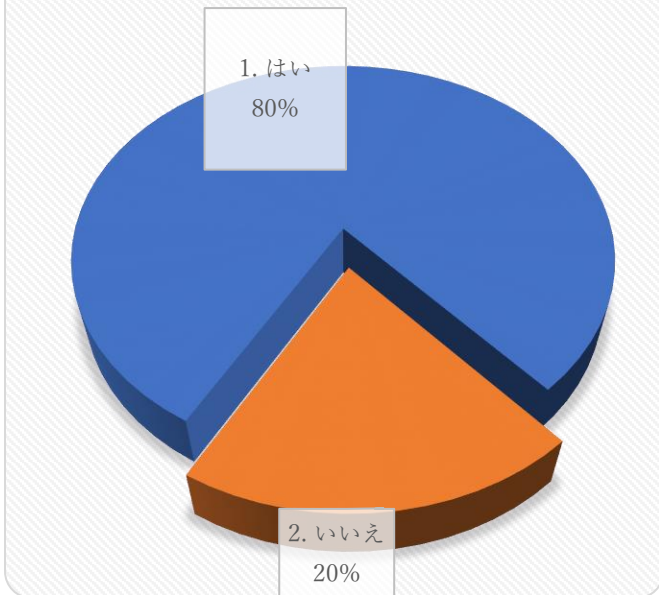
(ア) PDは大学受験に役立つ
と思いますか?



(イ) PDは将来役立つと思
いますか?



(ウ) PDを授業でもやりたいと
思いますか？



■自由記述②「その他、何かお気づきの点がありましたらこちらにご記入下さい。」

- ・ Round1 はちょっと gov が大変かと思いました。あと motion が少し想像しにくいいため、contradiction が多かったような気がします。
- ・ ディベート授業でやる高校さんは論理的な思考力を身につけられるところが多いと思うので、ぜひ授業に導入したいです。また、本日も運営の方々を始め、参加校の全ての方に本大会を作り上げてくださったことにお礼を申し上げます。ありがとうございました。
- ・ ジャッジにかかる時間が長すぎるように感じた。タイトなスケジュールの中で、休憩や昼食を取る時間もあまり取れず、落ち着いてフィードバックを聞く余裕がなかった。
- ・ 本日は大会を運営してくださりありがとうございました。なじみのないモーションばかりで、とても勉強になりました。今後も宜しくお願い致します。
- ・ もう少し、 make friends する時間が欲しかった
- ・ ラウンド 2,3 が非現実的でとてもやりにくかった。しかし普段の練習ではあまり選ばない論題だったため良い機会となった。
- ・ まだ、日本でディベートが普及していないと伺いましたが、その改善のためにディベート未経験者も参加できる学校単位の講習会や体験会をしてはどうでしょうか？
- ・ 都道府県によっては予選トーナメントのルールが徹底していない、ジャッジの経験にばらつきがあるなどの課題があります。
- ・ 運営ありがとうございました。
- ・ motion が特殊だったからなのか、government side が非常に unfair な definition を用意してきて遺憾に思いました。
- ・ make friends する機会が欲しいです
- ・ チャットができたのは良かった！

- ・今回のモーションの模範解答、考え方の様なものの解説を後日して頂きたいです！
- ・もっとニュースを読まないといい議論を作れないと思いました！
- ・特に R2 のモーションが government サイドのセットアップに大きく左右されるモーションだったので、HPDU のような参加者のレベルが多様な大会で出すモーションとしては若干不適切だと思った。ただ、他のモーションはよかったです！
- ・紙面でのディベートの教材が HPDU のサイトに掲載されているのはすごく助かっています。もし可能であれば、音声での教材やモデルディベートの種類や数を増やして頂けると幸いです。大会を通して様々なことを学びました、本当にありがとうございました
- ・些細なことですが、昼食時間をあと 5 分多くとっていただけると嬉しかったです。メインルームにいる最中に食べていてもいいと言われましたが、申し訳無い気がしました。